

## 第23回 岡山医療フォーラム【目と耳・鼻の健康】

2024.3.9 (土) 14:00~16:00

公益財団法人岡山医学振興会

代表理事 山田雅夫

当財団は、2001年に岡山大学医学部内に設立され、その後、法律の改正により、2011年に公益財団法人となりました。当財団の活動の一環として、毎年一般市民の方に向けて市民公開講座を開催しています。

その他の財団の活動として、岡山県下の医療に関する教育、研究、学会、研究会、医療関係の方の海外派遣、海外からの招請、地域連携活動などを支援致しております。そして、これらの活動は、岡山大学医学部関係者から毎年いただくご寄附で行っています。

今後とも、市民の皆様にもご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

### シニア世代のための眼科学講座

岡山大学 眼科 准教授 木村修平

近年、高齢化社会が進み、シニア世代の視覚における健康に関心が高まっています。本講演では、眼の健康維持において重要な白内障と加齢黄斑変性を中心に講演します。

白内障は、眼の中のレンズの役割をしている水晶体が濁って見えにくくなる病気で、シニア世代に必発する疾患です。手術機械の進歩、眼内レンズの改良により、以前よりも低侵襲で手術を行うことができるようになりました。しかし、いつ手術を受けるのが良いのか、レンズの選び方、術後の生活などに関する疑問が多いと思いますので、事前に知っておいてほしいことを解説します。

加齢黄斑変性は視力低下や歪視を生じる疾患です。予防策、定期的な検査の重要性について解説し、iPS細胞移植の最新の情報にも触れたいと思います。

”百聞は一見に如かず”、分かりやすいスライドで説明したいと思います。この講演を通じて、皆様の視覚における健康への関心を高めることができれば幸いです。

meno

## より豊かなシニアライフを送るために ～これだけは知ってほしい高齢者の「聞こえ」について～

岡山大学病院 聴覚支援センター 片岡祐子

皆さんは10年後にどうなっていたいですか？おそらく、この質問に対して「健康に」「楽しく」「活動的に」という答えが返ってくると思います。では、10年後のために何に気を付け、どんなことをやっていますか？この問いに多くの人が「運動」「食事」を挙げてきますが、実は「考えること」も大変重要で、パズルや日記などに加え近年「会話」が非常に重視されています。

年齢とともに聴力は悪化します。70歳代の50%、80歳代の80%が難聴になりますが、難聴は認知症、の予防しうる12のリスク因子のうち、最大の要因となることが指摘されています。その予防には早期の補聴器装用が効果的です。ただ、日本では難聴があってもなかなか補聴器装用に至らない方が多いのが現状です。今回の講座では、より豊かなシニアライフを送るために必要な情報を、聴覚ケアも含めてお話したいと思います。

## においが悪くなる鼻の病気について

岡山大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 檜垣 貴哉

「におい」は人の五感の中の一つ「嗅覚」によってもたらされる感覚です。人は他の動物に比べて視覚への依存が高く、嗅覚については重要性が理解されにくいのかも知れません。しかし、嗅覚がある事で、危ない物や腐敗した食べ物を避けることができます。また、においが悪くなると食べ物を美味しく感じにくくなります。

においは、鼻腔の天井付近で感じています。鼻や副鼻腔の病気の影響を受けてにおいが悪くなることがあります。例えば、近年問題になっている新型コロナウイルス感染により、嗅覚障害を生じる場合がある事が分かっています。その他にも慢性副鼻腔炎のために嗅覚が低下することがあります。特に、好酸球性副鼻腔炎というタイプの副鼻腔炎の嗅覚障害は再発しやすく生活に大きな影響があります。嗅覚の仕組みと、においが低下しやすいこれらの病気について、お話しさせていただきます。

meno